

「大阪府循環型社会推進計画」 (計画期間：2021年度～2025年度) 進捗状況 (2023年度)

大阪府では、府民、事業者、行政の各主体が連携・協働し循環型社会を構築するため、2021年3月に「大阪府循環型社会推進計画」を策定しました。計画の進捗状況等を毎年公表することで各主体の取組を促進しています。このたび、2023年度における各目標の進捗状況及び主な施策の実施状況を取りまとめましたのでお知らせします。

1. 計画の進捗状況

(1) 目標項目の進捗状況

本計画では、廃棄物処理法に基づく基本方針を踏まえた4つの目標項目に加え、国の「プラスチック資源循環戦略」(2019年5月)等を踏まえ、プラスチックごみに関する4つの目標項目を設定しています。一般廃棄物の「排出量」、「最終処分量」「1人1日当たり生活系ごみ排出量」は減少、「再生利用率」は低下しており、引き続き、府民、事業者、行政が連携し、さらなるごみの削減やリサイクルの取組が必要です。

	一般廃棄物						産業廃棄物	
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度速報値	2025年度目標値	2019年度	2025年度目標値
排出量(万トン)	308	295	293	289	282	276	1,357	1,368
再生利用率(%)	13.1	13.4	13.3	13.0	12.2	17.7	32.4	33.2
最終処分量(万トン)	37	35	34	34	32	31	40	33
1人1日当たり生活系ごみ排出量(g/人・日)	449	453	445	428	411	400	—	—

一般廃棄物	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度速報値	2025年度目標値	一般廃棄物及び産業廃棄物の合計 ^(注1)	2019年度	2025年度目標値
	容器包装プラスチック排出量(万トン)	24	23	25	21	22		21	プラスチック焼却量(万トン)
容器包装プラスチック再生利用率(%)	27	30	28	31	29	50	プラスチック有効利用(%)	88	94

(2) 進行管理指標の状況

本計画では、施策の実施効果を継続的に把握するため、目標項目に加えて以下の進行管理指標を設定し、計画の進行管理を行っています。

		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度速報値
一般廃棄物	1人1日当たり事業系ごみ排出量(g/人・日)	389	349	354	364	368
	事業系資源化物を含めた再生利用率(%)	20.6	20.7	22.0	— ^(注2)	— ^(注2)
産業廃棄物 ^(注1)	排出量から減量化量を除いた再生利用率(%)	91.7	—	—	—	—
	排出量から減量化量を除いた最終処分量(%)	8.2	—	—	—	—
プラスチックごみ ^(注3)	排出量(万トン)	48(76)	54	44	46	43
	再生利用量(万トン)	6.5(22)	6.8	6.9	6.7	6.5
	最終処分量(万トン)	0(6)	0	0	0	0
	単純焼却量(万トン)	0.25(3)	0.28	0.28	0.52	0.48
	生活系焼却ごみのプラスチック混入率(%)	15.9	16.4	16.7	15.9	16.3

(注1) 産業廃棄物は、概ね5年に1回の調査により把握しているため、2019年度実績値のみ記載。
 (注2) 一般廃棄物の「事業系資源化物を含めた再生利用率」の2022年度値は、2025年3月以降に判明予定。
 (注3) プラスチックごみは一般廃棄物のみを記載。ただし、2019年度の()内は産業廃棄物を含めた値。

2. 主な施策の実施状況

(1) 一般廃棄物

○ リデュースとリユースの推進

- 「おおさか3Rキャンペーン」を実施(10月～11月)し、スーパーや商店街等(1,992店舗参加)と連携して、ごみを出さないライフスタイルの促進など3Rの取組を啓発しました。

○ リサイクルの推進

- リサイクル製品認定制度を運用する(全認定製品345製品)とともに、イベント等においてリサイクル製品やごみの分別収集の周知啓発を実施しました。

○ 適正処理の推進

- 一般廃棄物処理施設への立入検査等(8施設)を行い、廃棄物処理法に基づく維持管理の技術上の基準の遵守につき、指導・技術的助言を実施しました。
- 環境省と連携し、市町村等を対象に災害廃棄物処理に係る研修等を実施し、市町村の災害廃棄物処理計画策定等(府内34市町が計画策定済)を支援しました。



「おおさか3Rキャンペーン」ポスター



災害廃棄物処理に係る研修

(2) 産業廃棄物

○ リデュースとリユースの推進

- 事業者に出出抑制の指導を行うとともに、処理計画書(府域全体966件)及び実施状況報告書(府域全体950件)を公表しました。

○ リサイクルの推進

- 建設業者向けの啓発リーフレットを配布するとともに、解体工事等の現場において適正な分別解体等の確認や指導等を行うため、パトロールを実施(府域全体183箇所)しました。

○ 適正処理の推進

- 不適正処理の未然防止や早期発見に向けた監視を行うとともに、警察等と連携しながら適正処理の指導等(府域全体で4,545回)を実施しました。



解体工事現場指導
(建設リサイクルパトロール)

(3) プラスチックごみ対策の推進

- 事業者、NPO、市町村等で構成する「おおさかマイボトルパートナーズ」を運営し、マイボトルの利用啓発やマイボトルが利用できるスポットの普及(4,299箇所)に取り組みました。
- マイ容器やマイボトルが利用できる店舗やサービス内容を検索できるウェブサイト「Osakaほかさんマップ」を運用し(掲載店舗：777件)、イベント等において周知啓発を行いました。
- 有識者、事業者団体、市町村等で構成される「おおさかプラスチック対策推進プラットフォーム」にて、プラスチック被覆肥料殻の流出実態把握及び流出対策設備の効果検証に係る実証実験を行うとともに、プラスチックごみの排出抑制や流出対策等について意見交換を行いました。



「おおさかマイボトルパートナーズ」ロゴマーク



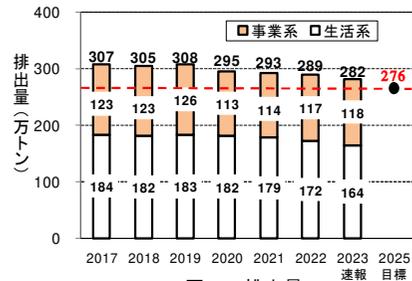
「Osakaほかさんマップ」リーフレット

(参考) 目標項目及び進行管理指標の経年推移

	目標項目	進行管理指標
一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 排出量 再生利用率 最終処分量 1人1日当たりの生活系ごみ排出量 	<ul style="list-style-type: none"> 1人1日当たり事業系ごみ排出量 事業系資源化物も含めた再生利用率
産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 排出量※¹ 再生利用率※¹ 最終処分量※¹ 	<ul style="list-style-type: none"> 排出量から減量化量を除いた再生利用率※¹ 排出量から減量化量を除いた最終処分量※¹
プラスチックごみ	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装プラスチック排出量 容器包装プラスチック再生利用率 プラスチック焼却量※² プラスチック有効利用率※² 	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック排出量、再生利用量、最終処分量、単純焼却量 生活系焼却ごみのプラスチック混入率

※1：産業廃棄物の項目は、概ね5年毎に調査を実施しています。
 ※2：プラスチックごみの焼却量及び有効利用率は、5年毎に実態調査を実施します。

■一般廃棄物 ※2025年度は目標値



注) 四捨五入のため合計が合わない場合があります。

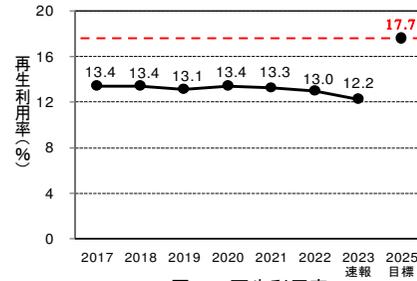


図2：再生利用率

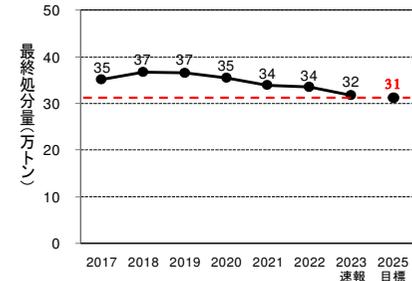


図3：最終処分量

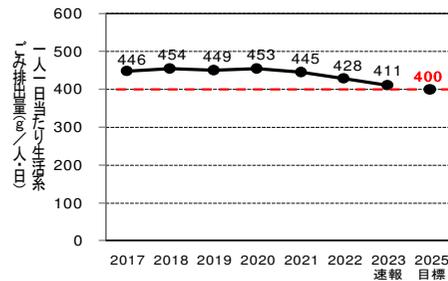


図4：1人1日当たり生活系ごみ排出量

■産業廃棄物 ※2025年度は目標値



注) 四捨五入のため合計が合わない場合があります。

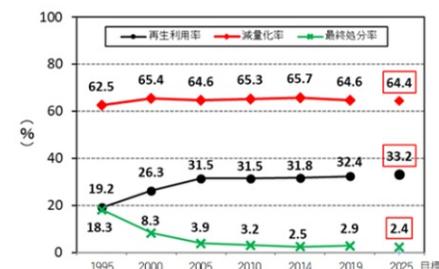


図6：再生利用率等

■プラスチックごみ ※2025年度は目標値

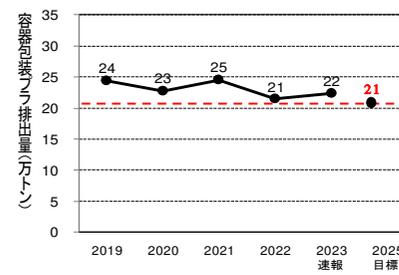


図7：容器包装プラスチック排出量

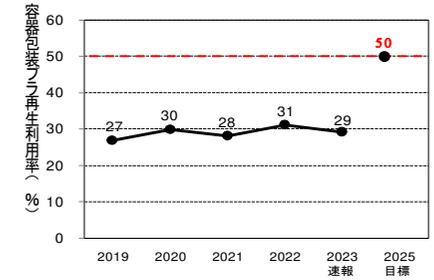


図8：容器包装プラスチック再生利用率

■進行管理指標 ※進行管理指標については目標値を設定していません。

※プラスチックに関するグラフは一般廃棄物の値であり、産業廃棄物を含んでいません。

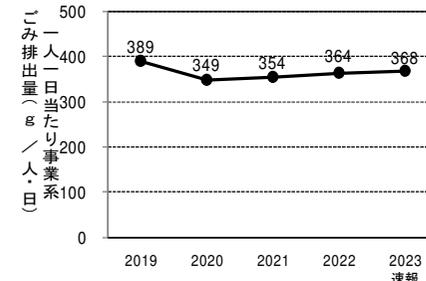


図9：1人1日当たり事業系ごみ排出量

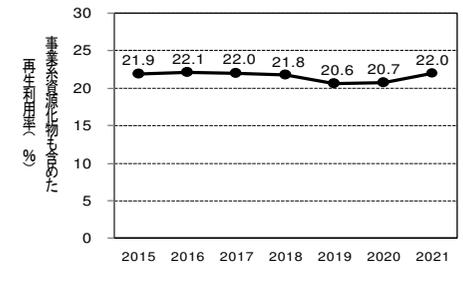


図10：事業系資源化物も含めた再生利用率

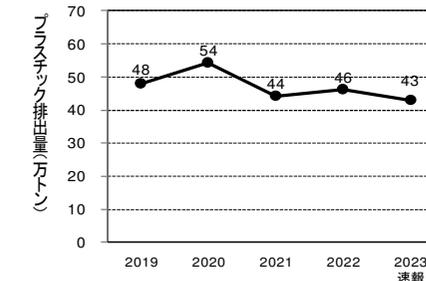


図11：プラスチック排出量

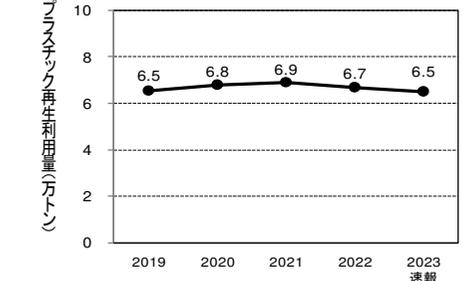


図12：プラスチック再生利用率

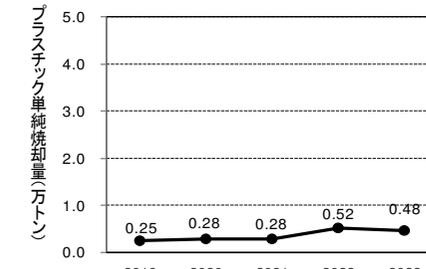


図13：プラスチック単純焼却量

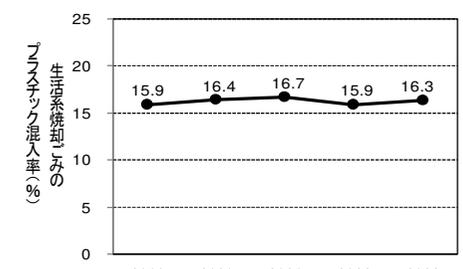


図14：生活系焼却ごみのプラスチック混入率